

器 1 7 血液検査用器具
一般医療機器 検体前処理装置 JMDNコード 38757000

特定保守管理医療機器

サクラ バイブレーター

E M C 適合

【警告】

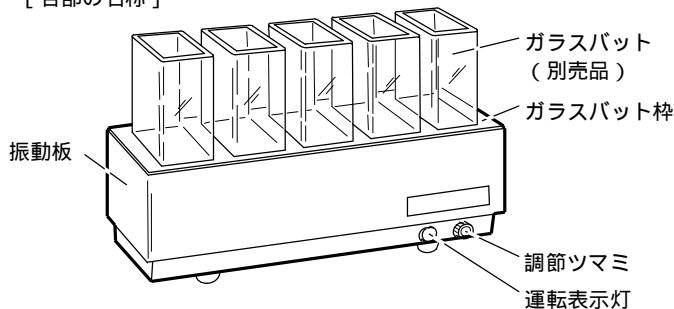
- ・装置を分解・改造しない。
- ・装置を濡らさない。
- ・スイッチ類を、ぬれた手で操作しない。
- ・電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない。
- ・電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行なう。
- ・電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

【禁忌・禁止】

- ・ガラスバットを載せる場合は、片方に片寄らない。
- ・洗浄液を入れすぎない。

【形状・構造及び原理等】

[各部の名称]



[作動・動作原理]

本装置は、電磁式振動子により発生した微振動を、標本の入ったPBS（磷酸緩衝液）入りガラスバットが置かれた振動板に伝える。

【使用目的、効能又は効果】

検体前処理装置

蛍光抗体法標本作製時に、標本面に残って反応を阻害したり非特異蛍光の原因となる反応処理後の不用の抗体や、それによって生ずる生成物を振動させながらPBSで洗浄する装置。

【品目仕様等】

型式：VF-5

本体寸法：315(W)×125(D)×115(H) mm

本体質量：約5Kg

【操作方法又は使用方法等】

[必要とする設備]

電源設備

電圧 : AC100V ± 10%
周波数 : 50/60Hz
容量 : 0.5A以上
接地端子 : D種以上
消費電力 : 50VA

[操作方法]

詳細は取扱説明書をご参照ください。

調節ツマミがOFFになっている事を確かめてから電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む。
振動板内にスポンジ板とガラスバット枠がある事を確認して、標本の入ったガラスバットを載せる。
ガラスバットの寸法は97(W)×46(D)の物を使用する。
調節ツマミを時計方向（右回転）にまわすとランプが点灯し、振動を開始する。
染色方法の種類により、調節ツマミを最適な振動の強さにセットして必要な時間、洗浄を行う。
洗浄が終了したら、調節ツマミをOFFにする。（振動が止まりランプが消える）
ガラスバットを装置より降ろす。
電源プラグを、コンセントから抜く。

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の第1章をご参照ください。

- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行なうこと。
- ・直射日光の当たる場所、冷暖房機の近くなど室温変化が大きい場所へは設置しない。
- ・装置は水平で、振動の少ない場所へ設置する。
- ・通風・換気の良い場所に設置する。
- ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの影響を受けるところへは設置しない。
- ・装置が振動するため、他のものに接しないように、周囲に余裕を持って設置する。
- ・装置に強い衝撃を与えない。
- ・お手入れの際は電源を切る。
- ・装置を清掃する際は、有機溶剤を使用しない。
- ・動作異常時は電源を切る。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

[設置環境]

- ・温度 10～40
- ・湿度 30～85%RH（結露なきこと）
- ・大気圧 70～106kPa

[耐用期間]

耐用期間：製造出荷後 8 年

条 件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を必要に応じ交換すること。
保守部品として供給される主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	5 年

ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書の「日常の保守」をご参照ください。

[使用者による保守点検事項]

・ 装置の外装

装置の外装や上部がぬれたり汚れたりしたら、布または繊維くずの出にくい紙を使用して清掃する。

[業者による保守点検事項]

・ 特になし

【包装】 1 台

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
住 所：長野県千曲市大字八幡1122-8
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場
住 所：長野県千曲市大字鋳物師屋75-5
電話番号：026-272-2381

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5638-1335（営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：0 1 2 0 - 3 9 2 - 8 7 4
（フリーダイヤル）